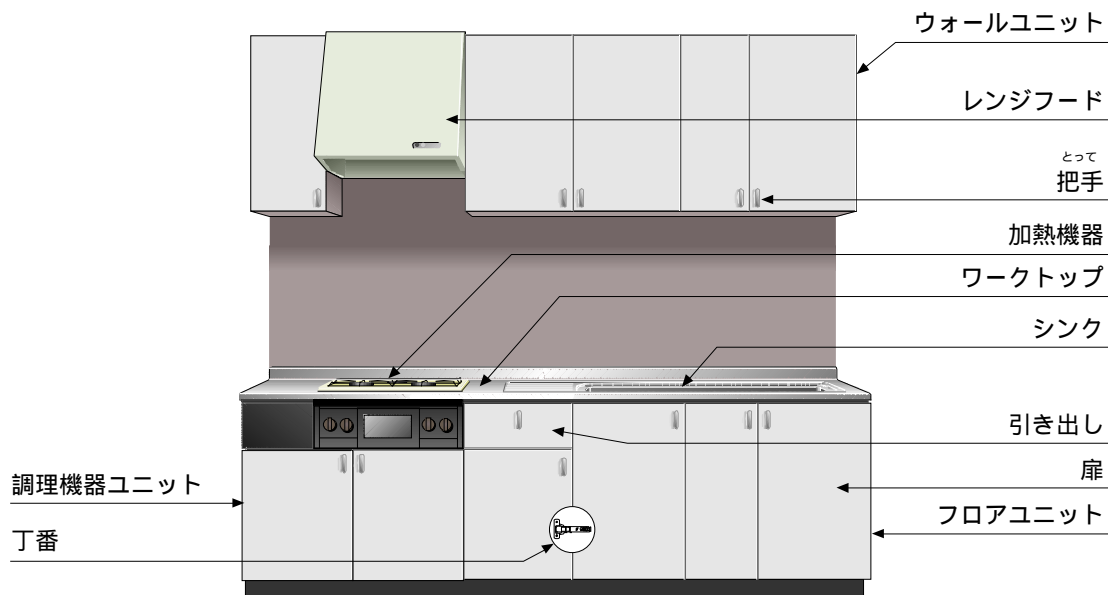


AA システムキッチン -SERIES

据付工事説明書



もくじ	安全上のご注意	1~2
	据付け前の確認 / 標準据付け方法	3
	加熱機器・給水・給湯及び排水口位置図	4
	据付工事作業手順 / ウォールユニットの取付け	5
	フロアユニットの取付け	6
	ワークトップの取付け	7
	照明器具の取付け / 扉（丁番）の調整	8
	据付け後の点検・清掃・養生	裏表紙





安全上のご注意 必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

据付工事完了後、説明書の内容にしたがって試運転および各部の点検を行い、異常の無い事を確かめてください。

本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様にお渡ししてください。

警告

ウォールユニット及びその他のキッチンパーツの据付けは、建築壁の構造を確かめて、据付工事説明書通り正しく行ってください。



据付けを誤ると、落下してけがをする恐れがあります。

電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。

接続や固定が不完全な場合は、火災、ガスもれ、水もれの原因になることがあります。



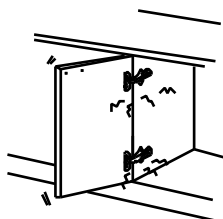
ステンレス製ワークトップやステンレスフードを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。

手袋をしないで切断面に触ると、けがをする恐れがあります。



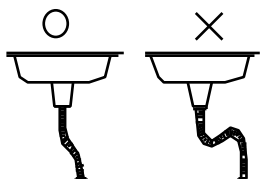
⚠ 注意

工事完了後は、扉の傾き・ガタつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。



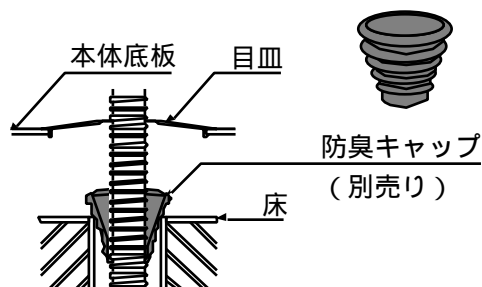
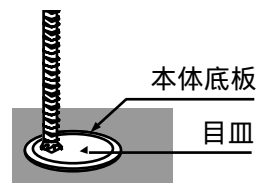
扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してけがをする恐れがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり折り曲げて取付けないでください。



排水能力が低下して、シンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

排水器具・排水ホースの取付け及び接続部分のシールは確実に行ってください。



取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐る恐れがあります。

キッチンに組み込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・水栓金具等は、それぞれの施工説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置してください。



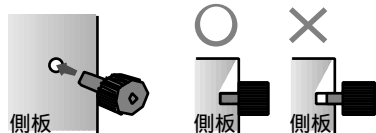
設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になる恐れがあります。

包丁差しは、ネジのゆるみや浮きのない事を必ず確認してください。



使用中に包丁差しが外れて、けがをする恐れがあります。

棚板を設置するときは、棚受け(ダボ)をすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。

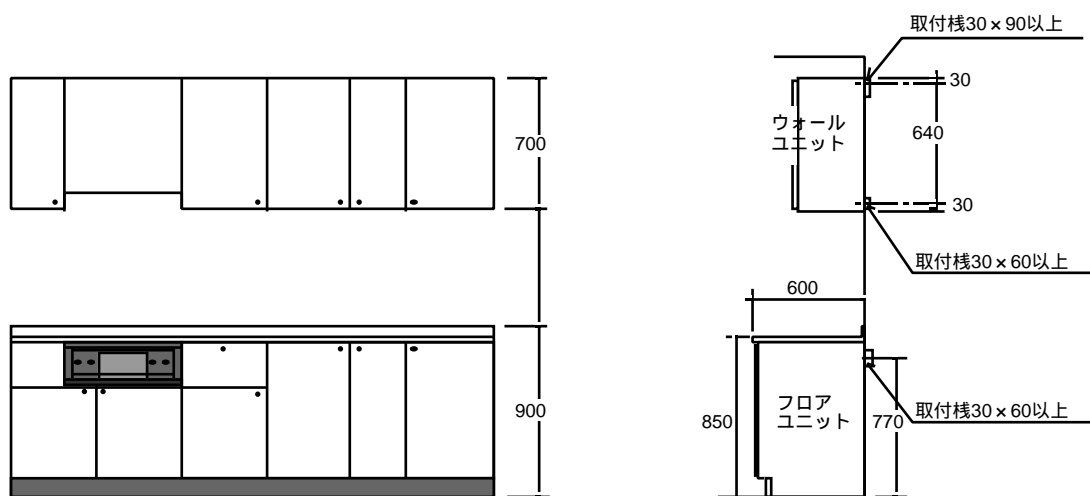


棚受け(ダボ)がはずれ、食器などが落下してけがをする恐れがあります。

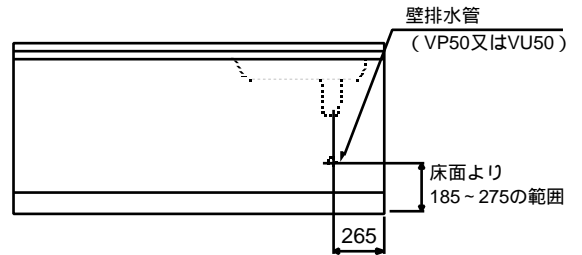
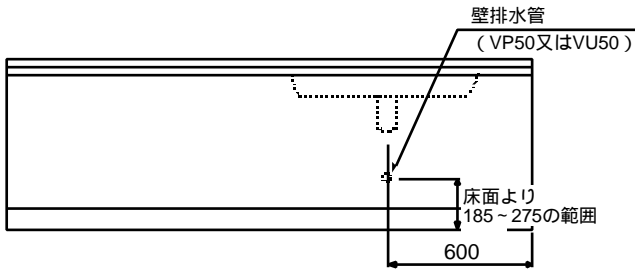
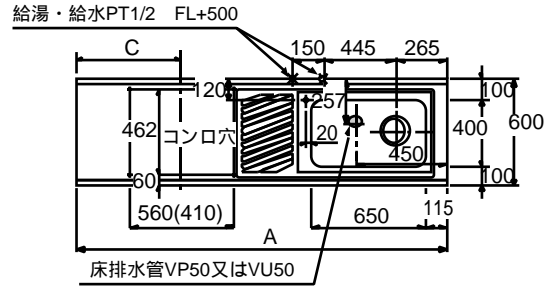
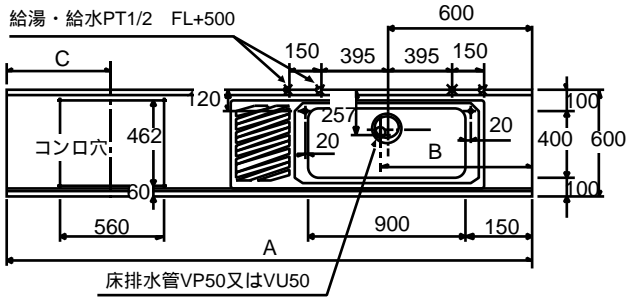
据付け前の確認

- ① 注文した製品が納入されているか確認してください。
- ② 配管・配線・補強棧の確認
 - ・施工図及び指示通りに給水・給湯管、排水管、ガス管、及び各機器の電気配線、換気口等が施工されているか確認してください。
 - ・壁面の取付棧位置に取付棧があることを確認してください。又、天井吊りする場合は天井の強度を確認してください。
 - ・壁の直角・垂直・床の水平レベルを確認してください。

標準据付け方法



加熱機器・給水・給湯及び排水口位置図



品名	サイズ	A	B	C
AM-270JBER(L)		2700	675	600
AM-255JBER(L)		2550	600	600
AM-240JBER(L)		2400	600	600
AM-225JBER(L)		2250	600	450

品名	サイズ	A	C
AM-210SBER(L)		2100	600
AM-195SBER(L)		1950	450
AM-180SBER(L)		1800	375

据付工事作業手順

- ① 据付面のレベル出しを行う。
 - ・壁の背面・側面に対し、サゲ振りによりレベル出しを行う。
(水平・垂直・壁の倒れをパッキン材で補正する。)
 - ・床面に対してもレベル出しを行い、一番高い所をチェックし、そこを基準で壁背面にフロアユニットの間口分に対し、H=820の墨出しをする。(これが全ての取付基準になる)
 - ・L型についても入墨のカネ出し(直角)を十分にチェックする。尚、壁背面側面はあらかじめ9mm以上のコンパネ貼りをしておくのが望ましい。
- ② ウォールユニット、レンジフードの取付けをする。
- ③ フロアユニットの取付けをする。
- ④ ワークトップの取付けをし、加熱機器をセットする。
- ⑤ オプションの取付け。

ウォールユニットの取付け

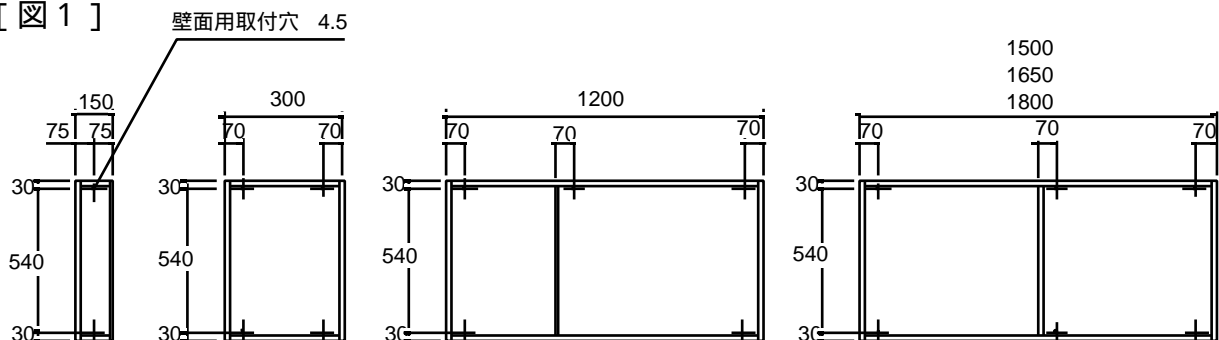


ウォールユニットの据付けは建築壁の構造を確かめて正しく固定してください。

据付けを誤ると、落下してけがをする恐れがあります。

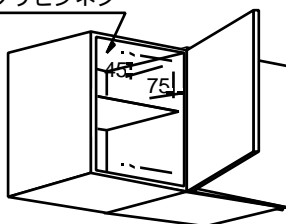
- ① ウォールユニットの背板に、取付穴 4.5を図1の位置にあけてください。
- ② ウォールユニットの連結は、側板から図2の位置に下穴を明け、⊕ サラタッピンネジ3.5×30にて固定してください。
- ③ ウォールユニットを持ち上げ背板にあけた取付穴 4.5より、⊕ ハイローラップネジ4.0×50にて固定してください。(図3)

[図 1]

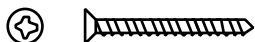


[図 2]

⊕ サラタッピンネジ
3.5×30

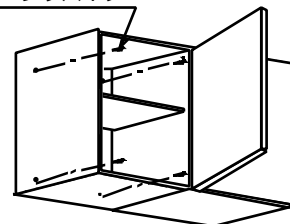


⊕ サラタッピンネジ 3.5×30

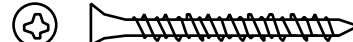


[図 3]

⊕ ハイローラップネジ
4.0×50



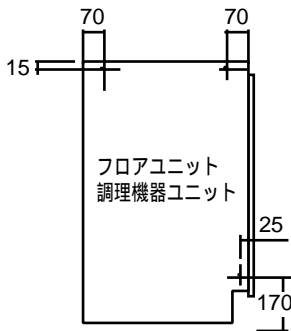
⊕ ハイローラップネジ 4.0×50



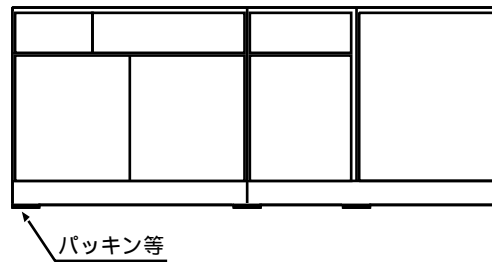
フロアユニットの取付け

- ① 各ユニットの組み合わせを確認して片方の側板に、連結穴 3.5をあけてください。(図1)
- ② 各ユニットを壁面より並べてください。各ユニットの水平はパッキン等にて調整してください。(図2)
- ③ 側板の連結穴より、⊕サラタッピンネジ3.5×30にて固定してください。(図3)
- ④ フロアユニットの背板の後に厚さ15mmのパッキン材をあて、下穴 3.5をあけ、同梱の⊕サラタッピンネジ3.5×30で壁面に固定してください。(図4)

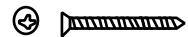
[図 1]



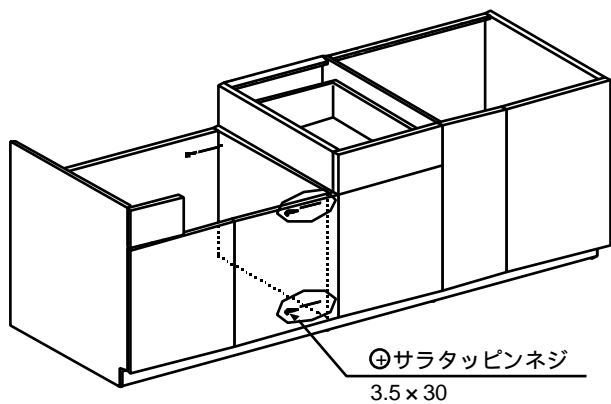
[図 2]



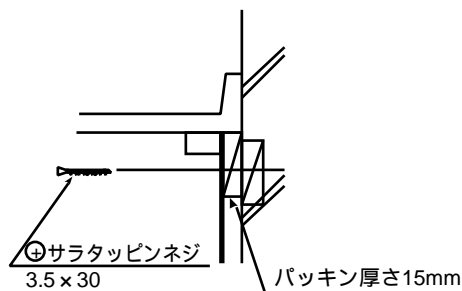
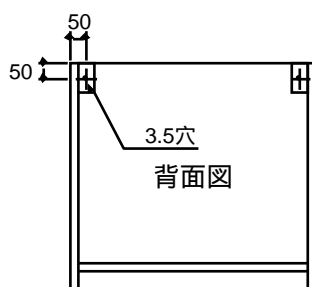
⊕サラタッピンネジ 3.5×30



[図 3]

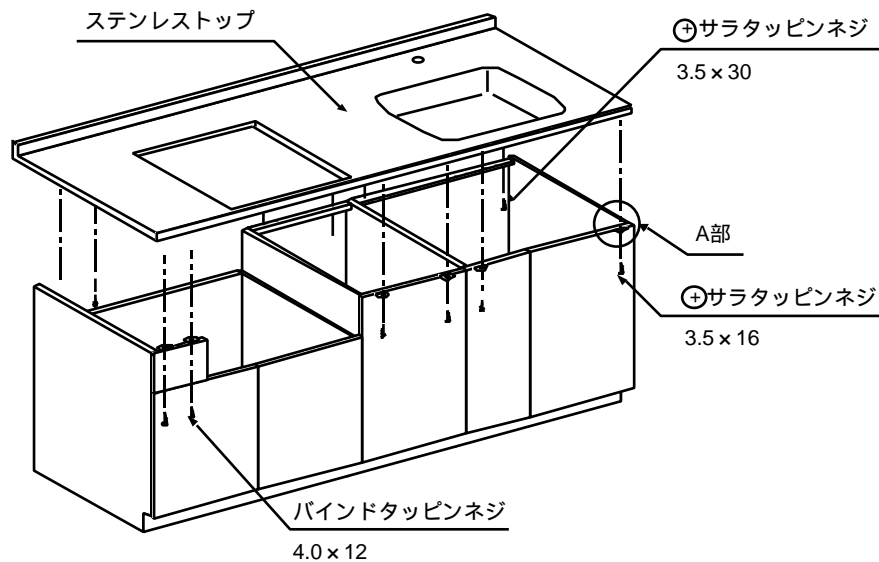


[図 4]



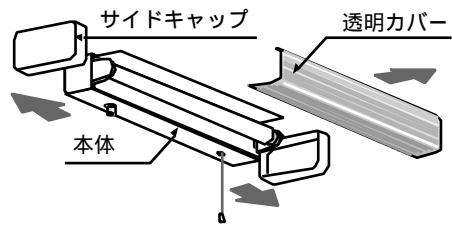
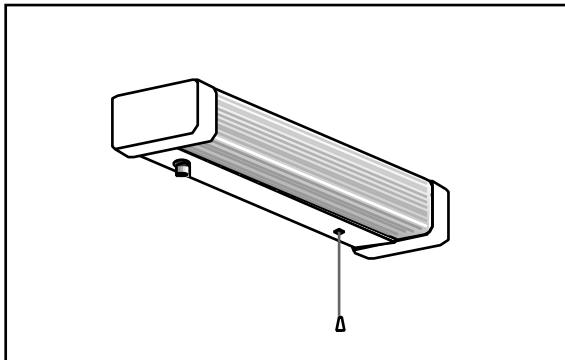
ワークトップの取付け

- ① ワークトップを壁面に固定したフロアユニットに乗せてください。
- ② フロアユニット前部にはあらかじめL金具がつけてありますので⊕サラタッピンネジ3.5×16 (バインドタッピンネジ4.0×12) にて固定してください。
- ③ フロアユニット後部は、棧がありますので下穴 3.5をあけて⊕サラタッピンネジ3.5×30にてワークトップと固定してください。

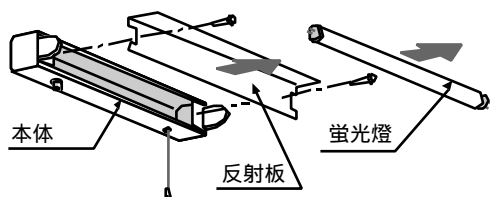


A部拡大図

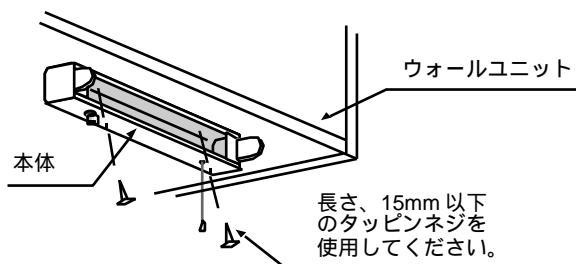
照明器具の取付け



1. 照明器具本体からサイドキャップ・透明カバーを取り外します。

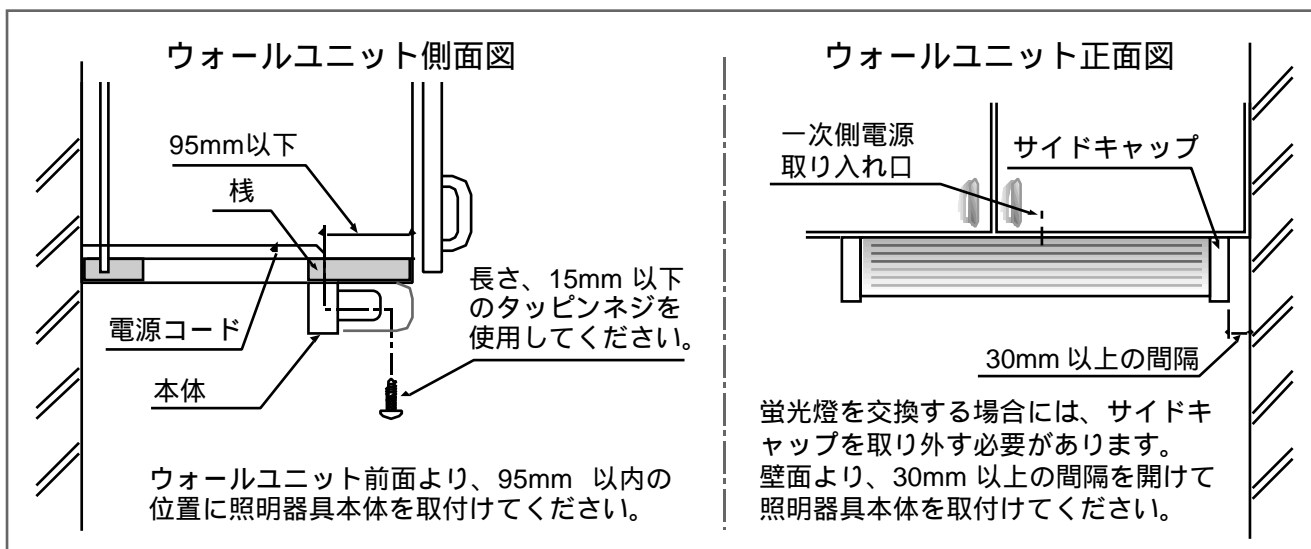


2. 蛍光灯、反射板を取り外します。



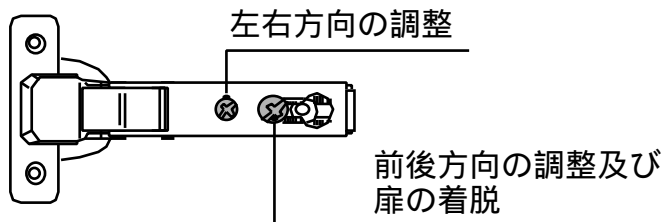
3. 本体をウォールユニットへ固定します。指定の位置へ取付けてください。

・照明器具の取付け位置



扉（丁番）の調整

扉に段違いが生じたら丁番の調整を行ってください。



上下の調節はできません。

据付け後の点検・清掃・養生

- ・「安全上のご注意」及び説明書の内容どおり据付けされているかを点検し、水漏れ等異常のないことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら傷などの損傷がないかを調べてください。
- ・ワークトップやとびらなどの損傷するおそれのある部分は、必ず梱包材等を利用し養生してください。
- ・シンク・ガス機器等破損するおそれのある部分は、ビニール等で中が見えるよう養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。